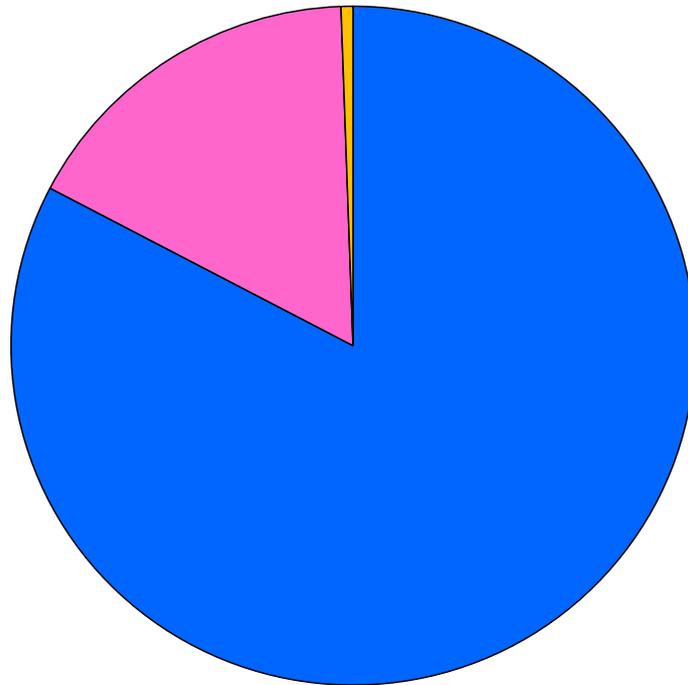


# 【ライブ配信】コロナ禍を未来に活かす『防災八策』AVC C&KK<sup>2</sup> 事業説明会2021

## 属性回答集計

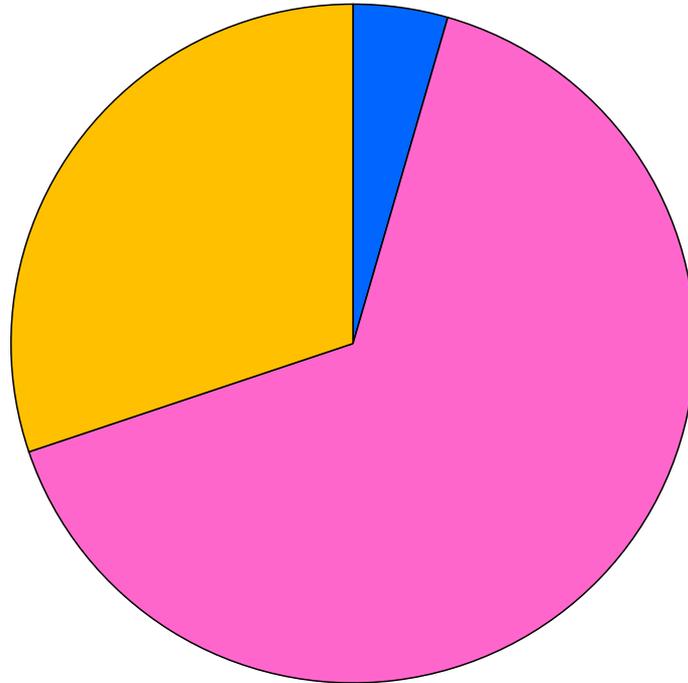
### 【属性】性別

No	回答	人数	%
1	男性	148	83
2	女性	30	17
3	性別無回答	1	1
合計		179	



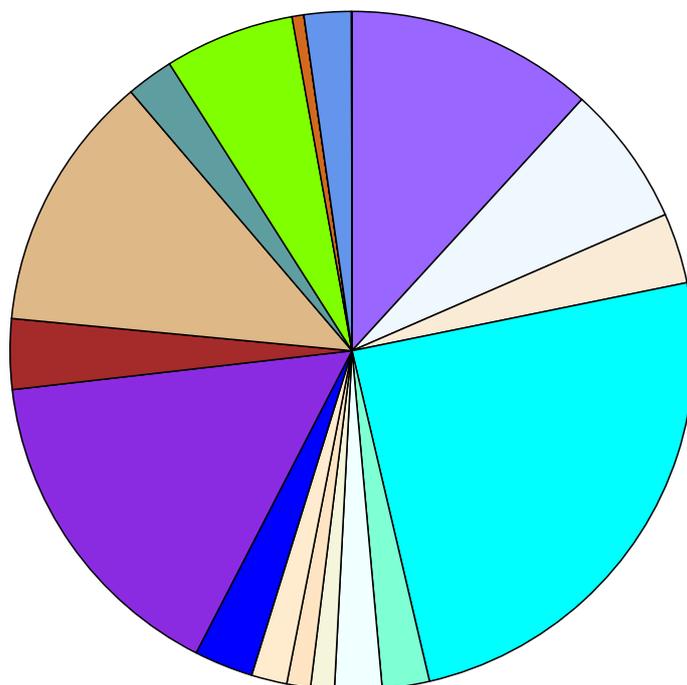
## 【属性】年代

No	回答	人数	%
1	アソシエイト（～34歳）	8	4
2	リーダー（35～59歳）	117	65
3	シニア（60歳～）	54	30
合計		179	



【属性】 職業

No	回答	人数	%
1	農業	0	0
2	林業	0	0
3	漁業	0	0
4	鉱業	0	0
5	建設業	21	12
6	製造業	12	7
7	電気・ガス・熱供給・水道業	6	3
8	情報通信業	44	25
9	運輸業	4	2
10	卸売・小売業	4	2
11	金融・保険業	2	1
12	不動産業	2	1
13	飲食店・宿泊業	3	2
14	医療・福祉	5	3
15	教育、学習支援業	28	16
16	複合サービス事業	6	3
17	サービス業（他に分類されないもの）	22	12
18	公務（他に分類されないもの）	4	2
19	分類不能の産業	11	6
20	学生（国内）	1	1
21	学生（海外）	0	0
22	無職	4	2
23	未登録	0	0
合計		179	



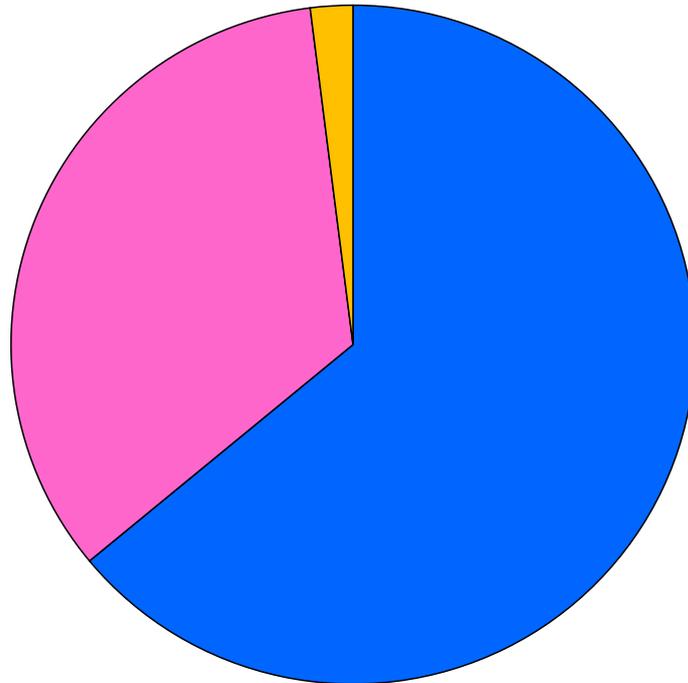
プログラム名 【ライブ配信】コロナ禍を未来に活かす『防災八策』AVCC&KK<sup>2</sup>  
事業説明会 2021

単元名 RA

アンケートタイトル 【ライブ配信】コロナ禍を未来に活かす『防災八策』AVCC&KK<sup>2</sup>  
事業説明会 2021

質問1 本日のプログラムの内容は、皆さまの仕事や働き方、考え方の参考になりましたか？

No	解答	人数	%
1	大変参考になった	71	64%
2	参考になった	38	34%
3	どちらでもない	2	2%
4	あまり参考にならなかった	0	0%
5	参考にならなかった	0	0%
合計		111	



質問2 【「アンチフラジャイルとは何か？」伊庭野 基明】  
ご意見ご感想をお願いいたします。（自由記述）

【自由記述】

- ・脆弱性から回避するだけでなく、回避するばかりか変化し、成長することがアンチフラジャイルの考え方だと知った。
- ・アンチフラジャイルという言葉は初めて聞く用語でしたので、大変勉強になりました。私自身が自治体の災害情報システムを扱う仕事に携わっており、
  - ・壊れないばかりか変化・成長する
  - ・失敗を学び、強くなるという概念は、身近な例だと防災訓練がまさに、合致すると感じました。近頃は防災分野でレジリエンスという言葉を目にするようになり、今後はアンチフラジャイルについても併せて目にする機会が増えるのではないかと感じました。
- ・伊庭野先生の「アンチフラジャイル」は新たな気づきを得る貴重なテーマでした。ありがとうございました。本日のテーマを自分なりにもう少し勉強をしてみたいと思います。
- ・難しい言葉だと思ったが、非常に分かりやすい内容であった。脆弱を転換させる力が必要だと思う。
- ・ご紹介のあった書籍を読みたいと思いました。
- ・ニューヨーク銀行、シリコンヴァレーの例で、ふと思いました。普段から回復可能な程度の小さな失敗を繰り返すことで、対処を学び強靱になっていくシリコンヴァレー、普段から脆弱を排し、小さな失敗も許さないニューヨーク銀行、だが、大きな軋轢があると脆さを露呈してしまうという対比と受け取りました。
- ・パワーポイントが整理されていてわかりやすかったです。
- ・反脆弱性というネーミングは分かりやすい。衝撃を糧にするのはすごいと思った。
- ・視聴できませんでしたのでオンデマンドで視聴させていただきます。
- ・失敗から学ぶという発想に共感しました。ありがとうございます。
- ・アンチフラジャイルは古い言葉で「失敗は成功のもと」に近いと感じました。失敗した時にへこたれるのではなく、失敗した原因や対策をじっくり考えて一皮向けた仕事や生活が送れるようにしていきたいと思いました。
- ・興味深いお話ありがとうございました。機会を見つけてお話の中に出てきた本を読みたいと思います。
- ・初めて聞く言葉でした。フラジャイルと言えばコミック原作のドラマを思い出します。今後注目していきたいと思います。
- ・難しい言葉に感じましたか、レジリエンス(回復suru)とちがって、壊れにくいものと言う仕組みを考える機会になりました
- ・今回の防災の話も合わせると、耐震だけではなく、揺れを逃がすような制震、免震と

つながると思いました。災害同様、大変なことが起きるのを前提とするとベンチャーの様に失敗があるのを前提でどう対応するか、どう生かしていくかが大切だと分かりました。友情と愛情の対も印象的でした。

・今までは、生きていくうえで、リスク回避を常に考えていた。  
仕事も、失敗しないこと、未然に防ぐことがセオリーになっていた。しかし、今回の公演で「失敗すること」を前提に考え、その失敗を糧にして成長することの重要性を学んだ。失敗することは、「プライドが許さない」と思って生きてきたが、これまで何回も失敗の憂き目にあってきた。それならば、思い切って方向転換してみよう。  
アンチフラジャイル人生 実行！

- ・短時間の説明でしたので十分に呑み込めていないのが正直な感想です。
- ・新しい価値観、優先順位みたいなものが必要なのではないかと思った
- ・難しい言葉で理解するのが大変でした。
- ・歯切れよく公演されてわかりやすかったです。
- ・アンチフラジャイル・フラジャイルということについては初耳でした。壊れやすい内容から壊れにくい対応に変えていく必要性を強く感じました。仕事面でも活用できるように言葉の意味を意識して行動していきたいと思いました。非常にわかりやすい公園ありがとうございました。
- ・レジリエンスとの違いを質問させていただきました。復旧と復興の違いで説明頂き、ありがとうございました。
- ・アンチフラジャイルとはなかなか聞き慣れていない言葉ですが、自分としては壊れにくい、壊れても更に強い人間に立ち直るようにしたいと思いました。
- ・アンチフラジャイル、初めて知りました。勉強になりました。
- ・「アンチフラジャイル」については、個人の考え方として、まずは何からはじめようかと考えました。今後、何からはじめたか、など、を共有する場も期待しています。
- ・こちら側の通信環境が悪く申し訳ありませんが視聴ができませんでした。
- ・フラジャイルは高齢者検定で学んだフレイルの状態と、とても似ていると思いました。フレイルにはアンチフレイルという造語はありませんでしたが、フレイルの状態から脱する重要性については、アンチフラジャイルの考え方と極めて近似性があるように感じました。
- ・タレブ氏の本は気になっていました。今日のお話、特にシリコンバレーなどの比較の表が面白かったので、これを機に本を読みます。ありがとうございました。
- ・初めて聞きました。お洒落な感じに聞こえますが、（脆弱な・壊れやすい）の反意語という事で覚えておきたいと思います。
- ・よくわからなかった。
- ・大変勉強になる内容だった
- ・始めてこの言葉を聞きました。また、レジリエンスとの違いもなんとなく理解できました。今後は自分なりのアンチフラジャイルを考えていきたいと思います。

・コロナ禍であるからこそ、できることに目を向ける姿勢。アンチフラジャイルという言葉を知ることができたので、背中を押していただけたのかなと思います。

・新しい概念でちょっと面食らいました。衝撃を糧に生長するというのはなるほどと思いました。

・新しい言葉を知ることができ、とても嬉しいです。これから解釈し、活用出来たらいいなと感じました。

・災害をどう防ぐかは、我々一般人で考えることは難しいため、「災害は起こるもの」という前提で考え、その際自分がどのように行動すべきかを考える良い機会になりました。「レジリエンス」をより発展させ、災害に対しより積極的に対応していくことが必要だと感じました。

・過去の被災から学んだ英知に基づく堅牢な未然防止策をアンチフラジャイル、アンチフラジャイルにはらむリスクの顕在化に対しても衝撃を吸収し絶命絶滅することなく、復旧・復元してゆく様子をレジリエンスと理解しました。

・セミナーでの質問もありましたが、アンチフラジャイル（復旧）とレジリエンス（しなやかに対応）とは似てると感じました。

・内容的には、難しく感じた。時間をかけ内容を理解していく必要があると感じる。失敗を糧にしていくまた、失敗に学ぶことには共感できるが、なぜ失敗をしたかを忘れてしまい実施したことしか覚えていないことがある。

・「人間の倫理、自考力の回復」大きな変化をしなやかに受け止め回復する。自らを強靱化させ、衝撃を糧に成長する。

・「アンチフラジャイル」と「レジリエンス」の違いのお話、興味深く伺いました。レジリエンスではなく、アンチフラジャイルを目指して行動したいと思います。

・アンチフラジャイルという概念を初めて伺い、災害が起こっても、反脆い行動を心掛けていきたいと思いました。

・COVID-19で露呈した脆弱な日本政府の組織体制を痛感した1年でした。今後、強靱で壊れにくい社会を築くには、一人一人の意識変革とマスコミ等のノイズ、サイレントマジョリティの社会の転換がより一層望まれるように感じました。

・自分なりに、自分の好きなスポーツに置き変えると、アンチフラジャイルは、「勝つ事とは違い、負けない事」のように思います。コンピテンシーの方が、「打ち勝つ勝つ」意識が強いように思います。自分もまず「負けない」から始めたいと思っています。

・この言葉自体に大きな意味をもたせるのではなく、失敗を糧に成長していける組織、発想に注目すべきと思う。ただ、教訓を生かせない教訓との整合をとる必要もありそう。

・日本社会の危機管理対策が、場当たりの後手後手になっている為、アンチフラジャイルが非常に重要課題となっているのが理解出来ました。

・ナシム・ニコラス・タレブ氏の著作について勉強不足のため今後、調べてみるつもりです。

・伊庭野先生のアンチフラジャイル（反脆弱性）は、共感できました。レジリエンスの

大きな変化をしなやかに受け止め回復すること。そして、自らを強靱化させ、衝撃を糧に成長するアンチフラジャイル。

災害は必ず起きる、失敗から学ぶことの大切さを感じました。

・脆弱性の反意語は強靱なという言葉で表現されるので、あまり現状に合わないように思われますが反脆弱性という言葉での表現にすると納得できる表現と思われました。伊庭野先生ありがとうございました。

・日本の政策や行政の脆さを国民が感じているはずなので、「アンチフラジャイル」力がこの機会に高まればと切に思います。自身も世界の変化に対して対応できるように意識し続けたいと思えました。

・アンチフラジャイル 初め聞いた時は「なんじゃそりゃ」でしたが、お話をうかがっていると、戦後の日本はまさにアンチフラジャイルといえるのではいか。アメリカの力が大きかったが 復旧をはるかに超えた復興 世界有数の経済大国にまで成長した。このコロナがきっかけにアンチフラジャイルを実現できるようにするには何が必要なのか…とりあえずはこれまでの当たり前を捨てることから始めなければならないと感じている。 貴重なお話ありがとうございました

・レジリエンスとの違いを考えてしまいがちですが、精神的な方向性を強く感じるレジリエンスに対して、科学技術分野ではアンチフラジャイルを意識すべきと思いました。興味深いお話でした。

・本を読みたくくなりました。ボリュームがあり高価なので躊躇していますがいずれ購入してみます。

・組織に頼らずに、個々の力、スキルを蓄えていくことだと感じました。しかしながら健康保険をはじめとした日本の手厚い社会保障に慣れ切った中で実践していくことは大変難しいのではないかと考えます。

・考え方は昔々からあって、それを最近、造語したものですね。  
講談社現代新書のしおり アラン・チューリング 「数学者が間違いを犯すということは、その人がまったく新しい方法を考えつく能力の不可避的な結果だと思えます。」 40年前にこのしおりに出会い「間違いを犯してもいいんだ！」と感動し、間違いを犯しまくりました。いまも継続しています。 また、以下のおことば 佐久間象山  
「土は過ちなきを貴しとせず。過ちを改むるを貴しと為す」  
これらはまるきりアンチフラジャイルだと思います。 読書って楽しいですね！

・アンチフラジャイルという言葉を知り、興味を持ち拝聴させていただきました。レジリエンスと共に更に理解を深めたいと思います。

・変化に対して、回復ではなく利益を生む。  
レジリエンスを超える考え方とても勉強になりました。

・初めて聞く話なので、概念を理解し、身につけるには時間が必要との感じでした。

・レジリエンスを越えた新しい視点を得ることができました。今後も学んでいきたいと思えます。

・フラジャイルを経験しなければアンチフラジャイルに到達できないと思う。まずはすべてが脆いものからの出発だと考え、私自身も成長できればと思う。

・参加が遅れて後半のお話しかお聴きできませんでしたので、後日視聴したいと思いま

す。

・アンチフラジャイル、恥ずかしながら今回のお話で初めて聞いた言葉です。様々な失敗を糧に次のステップに成長することがアンチフラジャイルだとすれば、人生はアンチフラジャイルの連続だと思いますが、それができる人とできない人の差は何なのでしょう？

・脆弱性による失敗の教訓を成長につなげる発想は素晴らしいことです。自らの戒めにもしたいと思います。

・仕事の都合でこちらに参加することができなかったのですが、「アンチフラジャイル」という言葉を初めて知り興味を持ちました。とても残念です。

・自分にどのくらいのレジリエンスがあるか分からず、また「回復力は大事！」と思うものの、それ以上のことは考えていませんでした。アンチフラジャイルは、「ダメージを受けたとき、回復することで、これまで以上の強靭さを身に付けられる」というイメージで正しいのでしょうか。「骨折したところは、他のところより骨が強くなる」子供のころに聞いた話ですが、そのように成長したいですし、ダメージを受けることに前向きになれそうな気がします。

・少し難しかったのですが、レジリエンスが障害や変化に対し柔軟に対応する能力であり、アンチフラジャイルは、たとえば 障害を経験した過去を学ぶことで、のりこえられる強さをもつことかと、とらえました。もう少し勉強したいと思います。

・中央集権型よりも分散型の方がアンチフラジャイルだというお話でした。一方で、利益を生まない中小企業は大企業に吸収・収斂されていくべき、というような論も耳にします。個人的には、小さく分裂していた方が生きやすいイメージがあります。

・恐竜が変化に対応できず滅びたように、変化に対応できないものは滅びていきます。現代は、情報技術の発達により毎日、毎秒のよう、かつてより短時間の変化に対応できないと上手いかわらないようです。アンチフラジャイルは、失敗を糧に成長していく考え方で、まさに新型コロナウイルス始め、現代社会の対応の根幹を示す考え方だと思いました。今後の指針としてとても参考になりました。

・短い時間でしたがフラジャイル、ロバスト、レジリエンス、アンチフラジャイルの言葉の意味とフラジャイルとアンチフラジャイル的なものを具体的に理解することが出来ました。まだまだこれから学ばなければならぬことがたくさんありますが、最後の質疑応答で伊庭野先生がレジリエンスは復旧でありアンチフラジャイルは復興であるという言葉がヒントになりそうです。

・逆境をバネに進化する。人類というくくりでは過去いくつも達成してきたのだろうと思う。技術進歩や情報社会への変化の恩恵もあるかと思うが目的意識を持つことが大事なのではないかと感じた。

・新しい切り口の情報を提供いただきまして、ありがとうございます。

・大変勉強になりました。

・アンチフラジャイルというワードから想起されるアイディアに非常に興味を持ちました。新しい価値観を教えていただき、ありがとうございました。

・大変勉強になりました。ありがとうございました。

・収録のカメラ担当をしながらでしたが、レジリエンスを鍛えるだけではなく、これからはアンチフラジャイルも必要な世の中なのだとわかりました。

・変化に対して、損を生じさせることではなく、利益を生み出すと言うニアンスト言うことを理解しました。いわゆる『失敗から教訓を学ぶ』、ベンチャービジネスでの鉄則とも言うべき、今の日本（個人）に欠けている最たるものと痛感しました。

・申し訳ありませんが、業務都合で途中からの視聴になってしまいました。29日に動画が公開されてから、もう一度確認します。

・とても参考になりました。

「アンチフラジャイル」を初めて知り、その考え方を理解できました。昨日の講演時間が短すぎたので、できれば倍以上の講演時間にしていただければありがたかったと思いました。なお、「アンチフラジャイル」の用語を使って、今後この考え方を普及させることは難しいように思いました。英語をカタカナにして、直訳した説明ではなく、ご説明された内容から分かりやすい日本語にしたらどのようになりますでしょうか？

・新たに知ったワードでしたが、時代から生まれた必要な考え方だと参考になりました。

・アンチフラジャイル。パツときいてよく理解できなかつたので、すぐに調べてしまいました。レジリエンスよりさらに進んだ考え方。突発的なことにすぐに対処できるようにすること。レジリエンスも最近本当によく耳にするようになりました。本当に先の読めない時代なので、何が起こってもしなやかに潜り抜けられる心構えを持ちたいものです。

・レジリエンスの理解が少しだけ深まった気が致します。今後とも宜しくお願い致します。

・脆さ 危うさ を受け止める力とより強くなる力を持つ

・「アンチフラジャイル」初めて聞いた言葉であったがその概念はレジリエンスを超える考え方だと理解しました。

東日本大震災から10年が経過し全体的な復旧・復興は進んでいるが、アンチフラジャイルの考え方を考慮したものになっているか今一度検証すべきだと思われる。

・「アンチフライジャル」とは何か？自分なりに理解できたと思います。ただ具体的にどのようなことがと考えると、難しい気がします。

・この単元を視聴して、まずは、一人一人が自らの弱さや脆弱性を経験する必要がある、そうすることで私たちは、失敗とは何なのか、落ちぶれるとはどういうことなのか、そしてどん底の状態になるとどういった気分になるのかを理解できるようになるものだと思います。

まさに、不確実な現代にあって、そのことが必要不可欠な事だと感じました。

・脆弱性を把握し強靱化していくというプロセスが興味深かったです。

・「アンチフラジャイル」という単語を初めて聞きましたが、大変分かり易い内容で勉強になりました。

質問3 【「コロナ禍を未来に活かす『防災八策』」秋田 義一】  
ご意見ご感想をお願いいたします。（自由記述）

【自由記述】

- ・ 普段の防災意識の維持が重要であることを再認識いたしました。  
あと、質問のシステムが良くできていて、興味を持ちました。
- ・ 災害、地震は忘れたところに発生しています。教訓を生かすために、市町村で定期的に避難訓練などを実施していますが参加者が居ません。参加者を増やすいい方法はありませんか？
- ・ 興味深く面白い内容であった。
- ・ 防災に対する、意識を新たにしました。常に非常時に備える姿勢が大事だと感じた。有難うございました。
- ・ 今回初めて秋田先生の講義を聴講させていただきました。先生のお話は大変聞き取りやすく、声の抑揚、話のテンポ、問いかけ等、プロの話し方に大変感服させられました。身近な防災対応として自身の教訓とすべきと感じたのは、「教訓は生きないものとして対応する」、「人は忘れるものとして対策する」、「ぐらっと来たら防災訓練」です。「防災を歯磨きに」捉え、まずはすぐにできることから意識を変えて行動していきたいと思います。
- ・ 秋田先生のお話も数量的な情報、事例や事象を多く引用されとても判り易く参考になる内容でした。特に「思っていなかった」は深く心に残る言葉になりました。教訓を活かす事の重要性を改めて考えたいと思います。
- ・ 日本が災害大国であることは周知しているが、どうすれば良いかが分からなかった。実現可能なことから始めれば良いのだ、と思わされる。  
小さな、しかし有効なヒントがたくさんあった。  
トレーラーハウスの活用は、どこの自治体でもできることであろう。  
拝聴できて非常に良かった。ありがとうございます。
- ・ お話が大変面白く時間がすぐにたってしまいました。在宅が増え近隣への買い物程度の外出のため、最近は防災準備なしで出かけていました。近所への外出時にも少しは防災グッズを持って出かけようと思いました。
- ・ 災害は、自分の身におきないと中々、教訓に生かされないのが、身勝手な考えと自分なりに思っていますが、直すことが難しいです。（秋田講師の講義内応をできるようにしたい。）
- ・ 参考になりましたが、一番おもしろいと感じたのは、指示は一定ではなく、どんどん変化しているということでした。いま、正しいとされたことが、また変わる可能性がある。このことは地域性・インフラの違いなどもあるのですが、被災されるたびに教訓となり、整備された結果だとも感じております。まだまだ変わりますね。
- ・ 事例を元にご説明頂きわかりやすかったです。
- ・ 教訓が生きないという教訓を生かすという考え方が印象的でした。
- ・ 非常に分かりやすく有益なお話でした。私も富士山の噴火は相当なリスクであると

思っています。ただ、大規模噴火災害は、他の災害と比べて経験がほぼなく、取り組みや対策、一般の意識も非常に弱いと感じています。

・災いは忘れた頃にやってくると昔から言われています。

「教訓は生きないという教訓」は全くそのとおり。

日常から習慣的に備えをしていくことを

個人、地域、国家、地球全体に広げていくことと思います。

・教訓は生きないという教訓にははっとさせられた。

・漠然と大丈夫な気がしている部分に気づきハッとしました。

・以前起こったことの教訓がほとんど生かされていないということがよくわかりました。人間は忘れる生き物とされています。

特につらいことや悲しいことは忘れると何かでききました。

自らを守る為に蓄えや対応等を行っていかうと思うことができました。

・私の防災に対する知識が表面的な印象でしかないということがわかりました。ありがとうございます。失敗

・「防災を歯磨きに」は大変分かりやすいメッセージでした。自分の身は自分で守るために、何を歯磨き(習慣)にするのか考え、実践していきたいと思います。

・避難所に関しては、人間の居心地の良さはもちろんですが、ペット同伴可のところはほぼ無いと聞いたので、ペットと一緒に避難できる避難所がもっと出来るといいなと思っております。

・納得できる内容でした。正常性バイアスは本当に怖いです。東日本大震災でも、中学生が声を掛けながら避難したことによって沿道の人たちが避難を開始したというエピソードがあったと思います。

自分は頑張って率先して動いて、正常性バイアスを打ち破れるようになりたいです。

・防災に対して行政の対応が遅いと感じていました、災害対策関連組織の強化には強く願います、防災を、継続、文化、習慣(歯磨き)とすることを考えて生活しようと思しました

・いかに今までの災害が防災、減災に生かされていないかが、たくさんの例を通して分かりました。冒頭で70歳以下は必ず震度6弱以下に見舞われるというお話があったものの、実際は今までの例にあったように私も正常性バイアス等が働いてしまって教訓を生かしていない一人だと思いました。また、今の平常時官僚が動く制度から、専門家がすぐ動けるような制度に代わってほしいと思いました。家の中にいくつか防災グッズは用意しているものの、特に家を出る時の準備は全く準備せず出かけているのでこれから考えていき、防災を歯磨きの様にできるように少しでも自分事として取り組んでいきたいです。

・教訓は生きないというのは全てに言える事だと思いました。

・とても勉強になりました。また機会があれば聞いてみたいです。「教訓が活かされないという教訓」を活かしていこうと思しました。

・人間は、忘れてしまう生き物である。事が起これば、その時は問題意識を持ち「ああしよう。こうしよう」と思いを巡らせるが、次の日には、すっかり忘れてしまっている。この記憶を日常に埋没させず、頭の中で常にシミュレーションを繰り返す。

今回の公演では、この日常的な繰り返しの大切さに気付かされた。災害に直面した際は、教訓は生きないという教訓を生かし、私は大丈夫な筈はないと慎重になり、そして行動したい。

・過去の教訓を生かせないということを教訓とするという言葉が印象的でした。参考にしたいと思います。

・回答に困る選択肢がいくつかあった 日常の防災意識が高まった

・教訓は生きないという教訓を生かすというフレーズが心に残った。

・防災は難しい。「経験は生きない」は、よくわかります。

・非常に面白おかしく公演をしていただき理解することができました。仕事は、防災関連に携わる営業をしておりますが、今回の「防災八策」を意識して営業ノウハウとして活用させていただきたいと思います。地震大国日本から災害大国となりつつある日本に住んでいる限り経験を糧にというより、日常の一部にできるように行動を変えていきたいと思いました。

将来を見据えた生活方法も含めて見直す必要があると思いました。

別の機会に講演がある際には参加したいと思います。

・長時間では有りましたが、あっという間の講義でした。お話も大変分かりやすかったです。特に避難所の考え方は勉強になりました。

・設問を多用されていて、設問結果を講義に反映されていたのがよかった。人間は忘れる生き物である。忘れることを前提して防災に取り組むべきであるということを仕事にも活かしていきたいと思います。

・質問を交えながら、集中して聴くことができました。

地理、地学の勉強等大事だと思いました。子どもたちにも伝えます。

・様々な災害の例が紹介され、防災の重要性をあらためて感じました。個人が行うべきこと、公共が行うべきこと、など、立場毎の整理をあらためて、自分の所属自治体が行っている防災施策をみながら、個人が行うべきことを考えたいと思います。ありがとうございました。

・災害を毎日の歯磨きのように考えて当たり前のように考えていくところに共感を持ちました。

自分だけは大丈夫と考えがちですが常に気にしながらの対応が必要と認識しました。

・とても勉強になりました。特に「経験の逆機能」の話は、年を重ねるにつれ「過去に大丈夫だったから」と初動ができなくなっている自分を反省しました。「教訓は生かされない」という事を出発点にして防災を心がけることは素晴らしい発想だと思いました。情報セキュリティでも事故は必ず起こるという事を出発点にして、事故をどう最小限に抑え被害を少なくするかを考えていることと共通点があると感じました。

・次から次に災害事例が効果的に紹介され、大変興味深いうえに、常に自分ごととして考える仕掛けがなされていて素晴らしいと思いました。とても濃い内容でしたのに、語り口が大変面白くもあり、時間があっという間に感じられる講演でした！さすが秋田先生。今後ともたくさんの学びを、よろしくお願いします。今日はありがとうございました。

・備えるべき災害への対策、防災を再度認識する事が出来ました。テレワークが進み

外出の際はPCが必ず運ぶ物に加わり、重量過多でカバンがちぎれてしまいました。その為、今はもう防災用具を持ち歩けていません、持ち運べる量には限界があるので悩ましいところです。 問い4、問い5の選択肢が良くないと思いました。 また、今回AVCCのお客様も参加されている為、参加者を否定するような発言はやめて頂きたいです、

、「私は大丈夫」は十分に備えている、という意味も含まれるのではないのでしょうか。 問い5については、適切な回答がありませんでした。 今まで気にしていなかった、等があっても良いのでは、「カづくで脱出」にしました。

- ・話が長く集中して聞けなかった。Q内容と回答選択が悩ましいものばかりでした。
- ・わかりやすく、今日からしっかり行動してみようと思いました。
- ・「教訓は生かされない」ということを生かしていくということには驚きましたが、なるほどとも思いました。これからは、防災に対し常に準備する、早めに対応する等、先生のおっしゃった防災を習慣にしていくことをこころがけていきたいと思います。
- ・教訓に学ばない教訓というのが響きました。教訓は生きないという前提で、捉えるようにしたと思います。
- ・教訓は活かないという教訓を活かすということから、物忘れ防止の対策を例に自分で訓練を継続することが大事という話は、地元の防災訓練で使えると思いました。
- ・その1の「四権分立」のたえで、シンゴジラを見ていたので、よく理解出来ました。 総理大臣のヘリが避難時に墜落したのが現実的と感じております。三権プラス一権、とても大事に思えました。これができる政治家を見つけたいです。
- ・秋田先生の話術（さすが）、ユーモアを交えた質問などで、大変ためになる話を自分に例えて聞くことができました。家庭での備蓄等の災害対策はしていたつもりですが、普段から防災グッズを持ち歩くことまではしておらず、そこまで必要なのかと考えさせられました。「防災はハミガキ」と思えるよう努力したいと思います。
- ・防災を歯磨きにする具体的な行動は、被災地被災者を気づかい適切な時期に適切な方法で災害救援ボランティアとして担い、防災実技を通し救援力量を確保・維持することだと思います。歯を磨くための必要性の知識、歯磨き・歯ブラシの用意ばかりでなく、歯を磨くことができない人や場所に対して自分が何をすることが問われているのだと思います。防災は知識ばかりではなく実技という本質的なことだと思います。
- ・経験が生かせないことを前提に考える 防災を考える気付きになりました。
- ・防災について再度考える機会をいただいたと感じる。災害は忘れたころやってくるといわれるが、災害に直面していてもその時何を行ったか、何が必要だったかを共有できていない。考えていくことの継続が必要である。
- ・「防災の教訓は、活かされていない事を活かす。」を心して歯磨きの習慣のように防災を体に沁み込ませて行かなければと思いました。ありがとうございました。
- ・非常に興味深いお話でした。ありがとうございました。「教訓は生かされない」ということを教訓として、自分自身の経験のみを尺度にするのではなく、あらゆることを冷静に考えるようにすることが大切と思いました。 また、いつ来ても不思議ではない災害にたいする日頃の備え、心構えも折に触れ家族と共有していきたいと思います。

・教訓は生きないという教訓を伺い、確かにその通りと思いました。できることを習慣化していくようにしたいです。

・防災は日々の心がけ、心構えから「大丈夫心配するな何とかなる」今後、この言葉をプラス思考に考えて日々を過ごしたい。

・今まで以上に、真剣に、防災の事を、より真剣に、より身近に、考えるいい機会になったと思う。また、今まで以上に、危機感を持って考えることが出来たと思います。

・非常にわかりやすい内容であり、かつ優れた話力だった。行政本拠が大手町とされたが、霞が関ではないのか？気象庁も既に虎ノ門に移転済。帰宅困難者で私は大丈夫回答の背景に職住一致など帰宅困難者になりにくい日常を送る方がいるのではないか。当事者の逃げない姿勢に鑑み2年前に中央防災会議が行政主導の避難方針を本人主体の避難方針に転換したがここに言及してほしかった。教訓は生きないという教訓、名言です。

・防災八策を意識して、今後の防災対策事業の提案活動に取り組んで行こうと思います。

・今回のライブ配信を受けまして、災害に対する防災の意識が高まりましたが、どこまで高めればいいのかを考えさせられました。非日常と日常の境界線が難しいところです。

・東日本大震災から10年が過ぎ、最近では熱海での土石災害など災害が記憶に新しい。ぐらっときたら防災訓練、ダンゴムシのポーズ、シェイクアウトをはまさに実践していきたいです。防災の専門家が言う3つ、①過去の教訓を生かせ、②備えよ、③災害を自分ごとに考えるはよく聞きますが、「教訓は生かされない事を教訓とする」とお聞きし、なるほどと思いました。災害は忘れたところにやってくる！災害は忘れる前にやってくる！私たちはどうすればいいのか？

9/4におうち防災点検があるのでやってみたいと思います。

最後に、代表からの自治体からの情報が届かなくなっている状態には驚きです。そして、「大丈夫、心配するな何とかなる」（一休さん）は、とても意味深いと思いますが自分なりに解釈してみたいと思います。まずは、できる事からやっていきます。本日は、貴重なお話をありがとうございました。

・過去の教訓が活かされていない状況を考慮すると、自身の事前の対策が必須であると痛感いたしました。秋田先生の講義もとても聞きやすく次回があれば是非参加したいと思います。秋田先生、ありがとうございました。

・教訓は活かさないという教訓を活かす、本当に必要だと思いました。毎年起こる災害と復興、自分の地域よりはるか遠くで起こったとしても、見直しのきっかけとして共有される機会が増えてほしいと思います。

自身も気を抜かないで持ち物などに注意したいです。

・防災8策 教訓を生かさない ということを経験にする 新鮮でした。防災を継続文化に 習慣に さらに歯磨きに ということ

防災を日常生活に取組むということ。私が東日本大震災をきっかけに代えた事 で今でも続いていることは①通勤カバンを背負えるタイプに代えた②カバンの中に防災マップとエマージェンシート、笛が常備している③家の庭に防災ロッカーを設置 電池、水 非常食 テント を入れてある（ほぼキャンプ道具入れですが） 最近断念したことは自宅から会社まで実際歩いてみる事

体験したほうが良いのだが、結構遠いので車で通ってみた これくらいです。大雪で高

速に22時間閉じ込められた話で、天気予報が出てたのも関わらず、まさか本当に・・・というコメントもありましたが、トラックなどは運転手の意思とは関係なくお客様の発注に最大限対応するという意識もあったと思う。発注者、運送会社の意識もかわらないとダメだと思う。本日有難うございました

・教訓は生きない を教訓にすべきという言葉にはっとさせられました。八策は専門的ですがすぐには理解できそうもありませんが、さすが考えておられることが我々とは違うなと感心いたしました。防災を歯磨きのように身近なものにしたいと思います。

・最後まで興味深くきかせていただきました。盛りだくさんのため消化しきれませんが、まずは心構え、ということで自分事として考えてゆきたいと思います。

・何度も、ハッとさせられる大変重要なお話を面白おかしく聞かせていただきました。ありがとうございます。喉元過ぎれば熱さを忘れると言いますが、ことわざになるほど人は成長しないという現れだだと思います。完璧な対応は出来ないのですが、自分や家族の命に直接かかわってくることなので、改めて気を引き締めるいいきっかけとなりました。

・正常性バイアスが強い＝教訓は活かさない＝アンチフラジャイルにならない！？  
なんたること！ 教訓は生きない＝ビル減災研究所の田中純一氏の帰宅難民の講義ではもう一段上の「経験が逆に危険を呼ぶこともある」ということもおっしゃっていました。次に首都圏に大きな地震（首都直下！）が発生したときに「3.11のときに歩いて帰ることができたから今回も帰ることができる」と判断して歩き始めるのは無謀である、なぜなら、もっとひどいことになっているから歩いて帰ることはできない、ということでした。防災に限らず、経験と知識をバランス良く持ち、正しい判断ができることが大切かと思いました。

・他人事とは思っていないつもりではありましたが、まだまだ自分事として捉えられていないとはっとさせられました。スニーカー通勤は実施していますが、帰宅困難者になった際に困らないよう本日のお話しを活かしていきたいと思います。

・エレベーターに乗る時、何も考えていなかった。DPPの質問のたびに自分の危機管理のなさにはっとさせられました。とても面白かったです。

・熱海の避難所の確保に、政府が出した文書は、発生した原因が、行政の失策で、更に、コロナ化で、ホテルが閑散としていて、それを有効に使い、ホテル事業者を救済できるとの目的があったのではと思う反面、今後の他の災害においても、前例となる画期的なものとなったのではと思いました。

・とてもわかりやすく楽しく！？防災について大切なことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

・防災に対し、自分は大丈夫の考え方がほとんど。自分は新型コロナにかからないが前提にあるから、または自粛ができないから、これだけ増え続ける。これも防災の考えが各個人に浸透していないことだと思う。本当に小さい時から防災についての教育は必要だと思う。

・私は秋田先生のご活動がある程度存じ上げているのですが、今回のご講演も素晴らしかったです。たくさん事例をもとにした「教訓が生きないことを教訓に！」というメッセージ。「防災を歯磨きのように！」、「災害時の四権分立」など目指すべくビジョンのヒントがたくさんありました。残念だったことは、今日に限って自宅のネット環境が悪く、中盤のお話をお聴き出来ませんでした。後日、KK2サイトから再度視聴しま

す。 本日はありがとうございました。

・喉元過ぎれば熱さを忘れる。という言葉にあるように、恐らくは、昔から人間というのは同じ過ちを繰り返してきたのではないのでしょうか。嘆かわしい現実を生きている、過ごしているのは自分なんだと改めて考えさせられました。余談ではありますが、秋田さんのお話の時、後ろのガラスに人がチョロチョロ動いているのが映り込んで、少し気になりました。

・教訓は生きない・・・という発想のもとで教訓を体に覚えさせるという考えは面白い。同感します、災害のみならず日常生活の心がまえとしたいと思います。

・途中から参加させていただきました。鎌田先生のお話をお伺いしてから防災グッズを持ち歩くようにしていますが、まだまだ危機感が欠落していることを実感しました。被災した経験もありますが、過ぎてしまうと、防災についての意識が疎くなってしまいますので、このようなお話をお聴きする機会をいただいたことに感謝しています。アンケート結果への厳しいコメントも、命にかかわることなので逆に良いと思いました。ありがとうございました。

・「教訓は生きない」という教訓は目から鱗でした。3.11を経験し、かつての大地震も報道などで沢山目にしているのに、私自身、防災が身につけていません。質問にもありましたが日頃は「3. ガタガタと主の揺れが来てから防災体制に入る」人間です。「防災を体に覚えさせる。防災を習慣にする。」肝に銘じます。「カタカタと揺れ始めたら、防災訓練」は学校でも会社でも今日からやるべきことだと思いました。

「阪神淡路大震災 発生の瞬間」(コンビニ)をyoutubeで見ました。  
カタカタから大地震まであっという間でした。恐ろしや。

・おっしゃるとおり、災害時に私は大丈夫と思っていた人たちが、被災することは事実だと思います。それは人間だからこその心理であるため避けられないので、どうすればよいか。それは、過去の教訓を生かし、学び 普段の生活の中に、災害対策を習慣づけることは必要、とのお話、大変よく理解できました。また、災害対策における行政のありかた、等もわかりやすい説明で大変よく理解できました。

・さすが話力研究所の所長だけあって、思わず引き込まれる話芸でした。話の展開や声の強弱など、人前に出て話す時のお手本にしたいと思いました。最近の災害の報道では「備えていても無力ではないか」と思われるような映像ばかり目にはしますが、それでも咄嗟に身体が動くようにはしておきたいです。個人的には散歩中に地名や勾配、川や公園の位置などを観察して歩くようにしています。

・ご説明を伺うほどに胸に迫ってくる、緊迫感のある講義でした。  
「教訓は生きないことを、教訓に」は他にも通じる名言だと思います。「ぐらっと来たら防災訓練」等習慣、決め事にしながら、生活を送っていこうと背中を押された感じです。

・長さを感じることなく視聴することが出来ました。熱海の土石流災害から日が浅いことも影響しているのかもしれませんが、教訓は生かされるようにしたいものだと思います。心理的バイアスというものも常に意識して克服していけたらと思います。防災八策も最後は急ぎ足になってしまいましたがこの部分だけを別の機会にお話し願えればと思います。防災を「はみがき」に出来るようにしたいものです。

・経験を活かさないことを教訓とし体で覚えさせて改善するという部分は私の身近にもあるなあと思った。 防災という部分では普段から正常性バイアスが働いてしまい、何

かあっても一時で済んでしまう。月一で家族防災訓練でもしようかなと思われた。

・ユーモアある話し方で楽しく視聴しました。ありがとうございました。

・大変勉強になりました。

・常に防災のことを考える。歯磨きのように習慣にせよとの教え、私のような無精者には非常に心が痛く、凶星だと感じています。自分の周囲はどのような状況で何を準備しなければならないか改めて考える機会をいただきました。ありがとうございます。

・普段は気がつかない点が多くあり、勉強になりました。

・収録のカメラ担当をしながらでしたが、人間は忘れるという言葉がとても印象に残っています。忘れる前提で改善策を見つけるのはとても有効だと思いました。

・アフターコロナを見据えての今後の生活を根本的に見直す方向性でセミナーを拝聴しました。いくつかの気付きの中で、国の政策や指針が如何に曖昧か？であることと、そして災害への備えや万一の行動は自らが自己責任の下で判断し先ずは自助を考えて行動しなければならないと思いました。セミナー終了後の「防災は歯磨き」との教えは習慣が如何に大切かという事にも肝に銘じたいと思います。

・聞きやすく、わかりやすい講演で、とても参考になりました。歩いて帰れない場所への外出時には必ず防災グッズを持ち歩く・・・見習わなくてはいけないことです。つい「自分は帰れる」「そんな災害はすぐには来ない」と考えてしまう自分を反省しました。東日本大震災の時も、何も対応できなく凍りついていた自分を思い出し、教訓を生かせる人間になりたいと感じました。

・とても参考になりました。タイトルの「防災八策」に関心を持って講演をお聴きしていましたが、いつまでたっても「八策」の話にならず、最後に項目を挙げただけの簡単なご説明で、しかもそれまでの説明事例との関係がよく分かりませんでした。重要な「八策」ですので、八つの策ごとに、過去の事例などを挙げながらご説明くだされば理解しやすかったと思った次第です。

・はみがきに例えられたように、個人は生活習慣としての常態化が必要ですし、行政などは仕組みや制度など、まだまだ発展途上だと感じました。

コロナ同様、まずは自分の身は自分で守ることは、同じ考え方だと思いました。話術のプロなだけに、わかりやすいプレゼンテーションで、DPPも面白く参加できました。

・東日本大震災の時よりもいざという時に何をしていたかの判断はできるようになっていると良いです。以前の教訓を活かせるように自分自身も常にとめておきます。毎年、必ずなにかしらの豪雨の災害がおこり被害状況をニュースで目にします。大変な事態ではありますが、どこか遠くの出来事のような気がしてしまいます。

防災をはみがきに。

日常にあたりまえのことになるようにしていかないとイケませんね。こうやって定期的に防災についての話をきくことも、私には意識の醸成につながっています。

・聞いているうちにお叱りを受けている気がしてきて大変反省いたしました。安心安全に関わっております一人として、教訓を生かす実践の難しさを痛感しました。防災八策を意識し取り組んで参ります。

・常に防災意識を持つ習慣化の大切さ

・秋田義一先生の防災に関する講義は二度目となるが

今回の「防災八策」は防災の視点を幅広く捉えた講義だったので 大変有意義でした。事前の調査はもとより発災の初期段階での行動を心掛けたいと思います。身体に覚えさせ条件反射的な行動ができる様になりたいものである。

・具体的な内容で、非常にわかりやすいと思いました。あらためて防災に対する意識（過去の教訓を生かせ）を強く感じました。

・防災に対する意識が高まり、まさに他人事ではないと思いました。常日頃から、今、災害が起きたらどう行動しようかと自分自身に問いかけながら行動しようと思います。

・「自分だけは大丈夫」と心のどこかで思っているのだと、改めて感じさせられました。日頃からの防災意識を持つことによって気づきが生まれ、備えることが出来ると思います。

・過去の災害から「教訓」の話につながり、大変興味をもって聞くことができました。また、講師秋田さんの話すテンポ、語り掛けがよく、他にもお話を聞いてみたいです。